

理事長あいさつ

内閣府の月例経済報告（令和6年3月22日）では、引き続き「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」と判断されているように、景気の回復基調は緩やかに続いております。

しかしながら、愛知県が行った中小企業景況調査（令和6年1月11日）の結果によれば、愛知県内の中小・小規模企業では、「原材料高」、「仕入価格の上昇」、「資材高」などが経営上の問題点とされており、また同調査のトピックス調査「エネルギー・原材料価格高騰の影響」では、全産業の77.7%が利益は減少したと回答するなど、中小・小規模企業を取り巻く環境は厳しい状況にあることが伺えます。

このような中、あいち産業振興機構では、経営上のあらゆる相談に対応する「愛知県よろず支援拠点」や、経営・金融・税務・技術・カーボンニュートラル・IT・DX各分野における経験豊富な「エキスパートあいち」のマネージャーによる経営相談を行っているほか、新たな取引・販路開拓の支援、創業を目指す方への支援、「あいち外国人起業&経営支援センター」による外国の方への支援、「あいち中小企業応援ファンド」による地域資源を活用した新事業展開への助成、海外でのビジネス展開に対する支援など、引き続き様々な事業を実施しております。

さらに、令和6年度から、新たに、取引あっせんコーディネーターを配置し、全国の企業を対象に発注案件の開拓を行うとともに、発注企業と受注企業の円滑な取引実施の支援や商談のサポートを行ってまいります。また、令和5年度から開始した中小・小規模企業が有する製品・技術・サービス等について、専門家が事業評価を行うことで信用力を高める「経営力評価サービス事業」を拡充するとともに、デジタル分野におけるサイバーセキュリティの問題にも対応していくこととしております。

当機構は、これからも県内中小・小規模企業の皆様との信頼関係の構築と、支援の充実に、全力で取り組んでまいります。

令和6年4月1日

公益財団法人あいち産業振興機構

理事長 兼松啓子

